



—東地中海地域ニュース—

アフガニスタン：大統領選挙結果プロセスをめぐる動き

(10月13日付現地各紙)

8月20日にアフガニスタンで大統領選挙が行われたが、本日現在未だ結果の発表が行われていない。13日付カブール・タイムズなどの現地各紙は、次のように報じている。

1. 閣議での批判

10月12日の閣議で、大統領選挙結果の遅延が治安の悪化と経済の弱体化に繋がるとする批判が再燃した。

大統領府の発表によると、閣議では、偉大な情熱を持って大統領選挙の投票に足を運んだアフガニスタン国民のことを考慮して、IEC (Independent Election Commission 独立選挙委員会) は早急に選挙結果を発表するべきとの議論が行われた。

2. ECC委員の辞任

12日、2名のアフガン人 ECC (Election Complain Commission 選挙苦情委員会) のうちの1名であるバラクザイ氏が、他の外国人委員の不透明な行動に抗議して辞任した。既に同様の理由で、ECCの報道担当者2名が辞任しており、同氏の辞任は3人目となる。

記者会見でバラクザイ氏は辞任理由について、「アフガニスタンのすべての問題への外国人の不必要な介入が主たる辞任理由である」と述べた。介入の具体例として、選挙結果の発表遅延は外国人がそう主張していることによるものと述べつつ、それ以上の詳細は政治的秘事項であり、国民の利益にならないので話せないと説明した。

バラクザイ氏の前に、ECC内の不透明さを理由に辞任した2名の報道官の一人であるシルザド氏は、「メディアに漏えいした不正に関するニュースは事実ではなく、このことから自分はECCでの仕事をやめることにした」と述べた。

注：アフガニスタン選挙法第52条では、ECCメンバーはアフガニスタン側から最高裁判所及び独立人権委員会の任命する各1名、UNAMA (United Nations Assistance Mission in Afghanistan 国連アフガニスタン支援ミッション) 特別代表が任命する外国人3名により構成される、と規定されている。今回辞任したバラクザイ氏は最高裁判所により任命されたメンバー。